

令和6年度 集団討論 課題

課 題	
臨床工学 技士	「南海トラフ地震の今後 30 年以内に発生する確率が 70%～80%」とされているが、災害時でも医療提供体制を継続させることは必須である。臨床工学技士が関わる医療機器の駆動源には、水、電気、医療ガス、通信等が必要である。県内で震度 6 強の地震が 7 月末、平日正午、第二次取水制限（早明浦ダムの貯水率 48%程度）下で起こったと想定する。発災直後と発災後 24 時間後において臨床工学技士としてどのように対応すべきか。あなたの考えを述べ、討論せよ。